

(有)山本農場プラン

作成年度 平成24年度
作成者 (有)山本農場

(有)山本農場プラン

作成者 (有)山本農場

事業主体 (有)山本農場

はじめに(プラン作成に至った経緯等を記載すること)

平成17年度からチャレンジプランを活用して規模拡大を図ってきました。

当時の計画目標からすると、だいたい達成しているように思えます。

私たちの校区でも集落単位で営農組織の取り組みが増えてきていますが、まだまだ不十分であるように思います。

高齢者の方々から作付・管理をしてもらえないかという相談は以前からあり、不便ではあるけど要望に答えてきた。今では不便であったところの周辺の作付の依頼もあり、1団地40a以上となっている。今後も増える見込みです。

後継者も決まっており、冬期を除いて常時雇用が出来つつあります。3名程度考えています。

農業で生計を立てるには規模拡大を図り、経営安定のため農作物の全量直販を今年度から実施をします。

規模拡大により現在所有の農業機械では不十分であり、増車しなくてはいけない。

そのため今回申請した訳です。そのことにより耕作放棄地対策にもなりますし、私どもが規模拡大をしていることを知ってもらえば、自然と相談も多くなると思います。

現在個人の経営ですが、乳類販売業も営んでおります。自営の方も会社に統合して経費の削減、税制面も有利にしたい。

これからも担い手の方々と一緒に農地の保全美化に努め、経営安定を目指していきたい。

1 生産経営の現状・課題

1) 生産経営の現状(平成23年度)

○農地 1,237.0 a (所有地:130.3 a、借入地:1,106.7 a)

水稲作付 989.2 a (うち特栽米:901.6 a)

粟 15.0 a、プルーン 15.0 a、そば 102.9 a

シイタケ 1,000 本

○受託作業 1,328.2 a (耕耘:258.9 a、田植:110.4 a、刈取:617.0 a、畔付け:341.9 a)

米直販 21 t (消費者:15 t、米業者:6 t)

○保有機械・設備

トラクター26ps・45ps:各1台、田植機施肥付6条:1台、コンバイン4条刈:1台

2t ダンプ:1台、軽トラック:1台、運搬用台車:1台、ホークリフト:1台、

ウイングハロー:2台、プラソイラ:1台、フレールモアー:1台、畔ぬり機:1台

動力噴霧機:1台、米保冷库:3庫、育苗用ハウス(20m):4棟

2) 今後の課題

現在のほ場は近場から5 km以上離れ点々としている。

1つの団地が40 a以上あるが、今後どの程度の団地になるか不安でもあるが、期待もある。

近場に集積するのは今の営農組合との話し合いが必要であり、時間がかかると思います。

組合は受託が主であり、組合員も多いため、今後に期待したい。

2 生産経営等の改善内容(目標)と効果

1) 改善内容

- 収量に影響があるのは水管理である。
現在全体の1/3を4名の人をお願いして管理をしてもらっている。有料ではあるが大変助かっている。この管理方法を拡げていきたい。
- 規模拡大するには、それ相応の機械設備が必要になる。小額な設備は今の収入でまかなえるが、高額になると支援事業をお願いせざるをえない。
- 農業資材等、多量になるため、少しでも安く購入できるよう商社と直に取引していきたい。又大規模農家及び組織との連携を深めたい。
- 現在、自作・受託が25 haですが、目標は40 haを目指して頑張りたい。

2) 事業の効果及び目標

- 規模拡大することにより、効率もよくなり、経費の削減に寄与できる。
- 規模拡大することにより、耕作放棄地も少なくなり、保全に向け貢献できる。
- 雇用についても数名ではあるが、常時又は臨時で雇うことが出来るようにしたい。
- 農作物については、付加価値を付けた安心・安全な食材を販売したい。又米については今まで通り特別栽培米を消費者に全量販売したい。
- 条件が悪く水稲が出来ないほ場には、そば・なたねを作付し、2毛作を目指したい。
- 長男夫婦が近く就農するので、規模拡大し収入を増やしていきたい。

3 目標達成に向けての取組(年次別の行動計画)

- ① コンバイン（5条刈）の導入
- ② 田植機（6条）の導入
- ③ 特別栽培米の全量直販（45t）
- ④ そば、なたねの生産面積の増反
- ⑤ 新規作物の生産に取り組む

項 目	内 容		H24	H25	H26	H27	H28	H29
コンバイン導入 (5条刈)	がんばる農家プラン 事業にて導入	計画	◎					
		実績						
田植機導入 (6条植)	自己資金で導入	計画			○			
		実績						
育苗用ハウス導 入(20m)	自己資金で導入	計画		○				
		実績						
サブソイラ導入	自己資金で導入	計画		○				
		実績						
特別栽培米の販 売	コシヒカリ	計画	○	○	○	○	○	○
		実績						
農産物の販売	ミニトマト、果樹類	計画	○	○	○	○	○	○
		実績						

* ◎は県、町の支援が必要なもの（がんばる農家プラン事業） ○は継続事業

販売方法として、現在一般消費者には自社で収穫したミニトマト・栗・シイタケ等を時期によってお礼として送っており、そのようなことが幸いしたのか口コミで広がっている。

また、長男たちも販売に力をいれ、米子・隠岐の島地区がよく売れております。後は米業者に特裁米なので高く買ってもらっております。